

第2次横浜市大都市自治研究会（第5回） 会議録	
日 時	平成27年8月3日（月）午後5時～午後6時45分
開催場所	市庁舎2階 政策局会議室
出席者	辻座長、大杉副座長、伊藤委員、沼尾委員
欠席者	薄井委員、高橋委員
開催形態	公開（傍聴0人、報道0社）
議題等	1 開会 2 資料説明 3 意見交換 4 閉会
決定事項	次回研究会は、第2次横浜市大都市自治研究会答申の策定に向けて議論する。
議事要旨	1 開会 2 資料説明 事務局から会議資料の説明が行われた。 3 意見交換 委員の意見交換が行われた。（主な発言は、下記のとおり。） 4 閉会
主な発言	
（大杉副座長）	特別自治市の区は行政区であることをどう積極的に言っていくかが重要。行政区の区局連携のメリットなどをいくつかの類型で示していけると非常に説得力を持ってくる。
（大杉副座長）	ニューヨークでは市議員が一定の予算枠を持ち、区長も小規模なハード整備ができる程度の予算枠を持って市が実施している。議員も少し枠を持っているというのは、地元につながっていくという上で非常に意味のある話だと思う。
（沼尾委員）	社会保障関連の支出が増え、税収増がなかなか見込めない状況の中で、二重行政の解消と歳出抑制に向けた効率化が必要だというときに、特別自治市が効率的だという論理は、整理があった方がよい。
（辻座長）	社会保障関連等は、実質的には財政への影響も大きいだろうが、制度が変わってきているなか、固定的な議論を行うのは難しい。
（辻座長）	横浜は指定都市の改革の中ではやはり先頭を切ってきて、いろいろ実践があるので、その実践をポジティブに情報発信できたらよい。
資料	1 次第 2 資料（第2次横浜市大都市自治研究会（第5回）会議資料、参考資料）
特記事項	

（以 上）